

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に基づいての介護であるが、新しい職員にも理念の浸透を図り、ケアプランの作成、またケアの実践につなげていきたい	理念の3本柱を念頭におき実践につなげる	・職員会議、カンファレンス、モニタリングの時、理念の確認をする。 ・ホール内に大きく書いた理念を掲示する	6ヶ月
2	2	移転して1年も経過していないが、老人クラブとの交流は2回ほどあるが、より関係を深めたい。また子ども会との関係を作りたい。	地域との交流を図る	・老人クラブとの交流を強化(歌、踊り、認知症についての理解、話し相手など)する ・地域のごみ拾い、散歩・地域交流お茶会を計画する	1年
3	38 39	重度化がすすみ、意思の疎通が難しい、また出来る事が少なくなっている利用者の「その人らしい暮らし」を支援したい	その人らしい暮らしを支援する	・丁寧なアセスメントを行ない、その人を理解する ・日常の会話、行動、表情の細やかな観察、記録を行い、それを生かしたケアをする ・きめ細かい対応により、出来る事の維持に努める	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。